

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ  
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、  
早稲田大学政経学部、カナダ・マギル大学留学、  
早稲田大学大学院博士課程を経て…  
28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、  
県議2期を務めた後、  
平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)  
平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)  
現在、介護施設「上川原んち」代表  
【趣味】鉄道、旅行、茶道、ものまね、カラオケ

〒360-0831 埼玉県熊谷市久保島1003-2  
tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

mori\_morita 森田俊和

\*バックナンバーはホームページからダウンロードしていただけます。



## 平成28年、森田はこう動く!

本年、次なる戦いがあることも想定し、昨年の成果と反省をふまえ、下記の戦略に基づいた活動を遂行していきます。次の挑戦は、単に議員を目指すという挑戦ではなく、今後の政治生命を賭けた戦いであり、今後の政治家としての確固たる基盤を築くことを目指しています。

### 平成27年を振り返って

#### ■成果

##### 1. 人格を高める

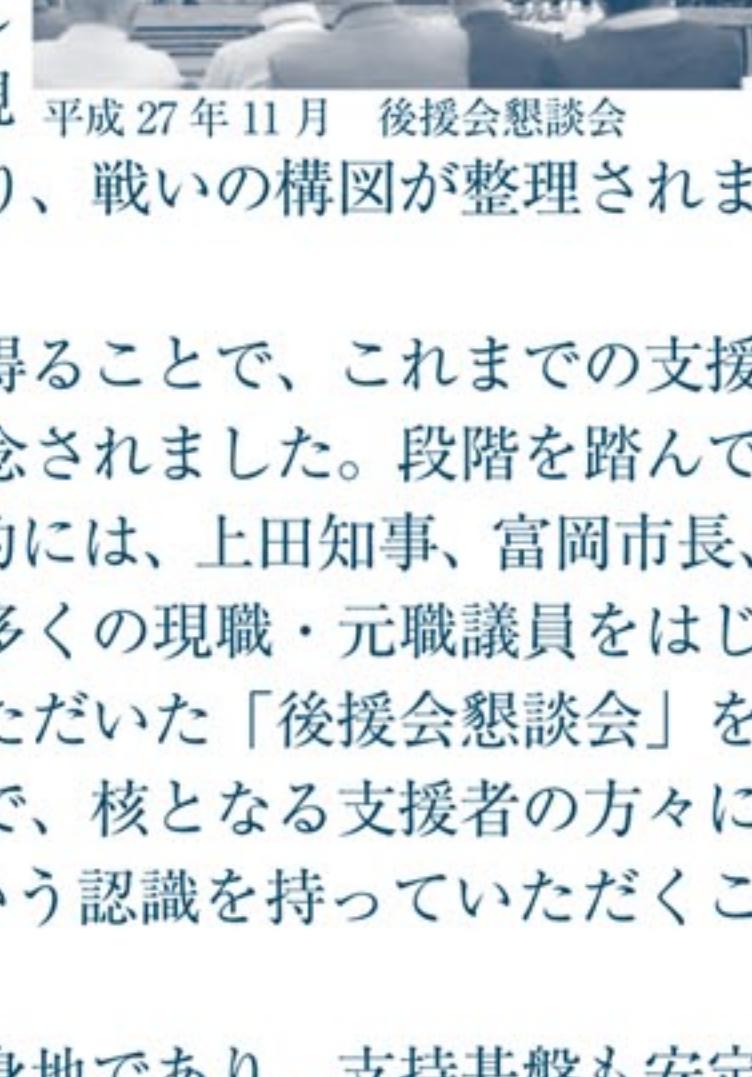
共に学ぶ仲間を得て、人間の幸せについて多くのことを学びました。そのことで、政治家として何を成すべきか、明確にすることことができました。昨年一年の成果は、政治家として人生を歩むまでの基礎となり、大きな糧となることだと思います。

##### 2. 民主党からの支援

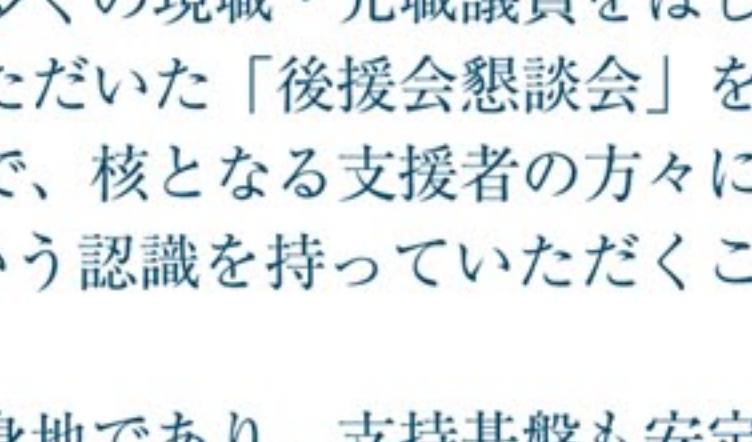
玄葉光一郎先生からのお声がけにより、民主党の支援を得ることができました。民主党に関係が深い団体、組織の方をはじめ、今までとは異なった層の方々から支持を得るために基盤ができました。また、これにより現職対森田という図式になり、戦いの構図が整理されました。

一方、民主党の支援を得ることで、これまでの支援者の方が離れることが懸念されました。段階を踏んで説明の機会を持ち、最終的には、上田知事、富岡市長、増田先生、小島先生など多くの現職・元職議員をはじめとする皆様にご参加いただいた「後援会懇談会」を実施しました。この過程で、核となる支援者の方々に「森田党でいこう!」という認識を持っていただくことができました。

また、本多さんは、出身地であり、支持基盤も安定



平成27年8月 後援会拡大役員会



平成27年11月 後援会懇談会

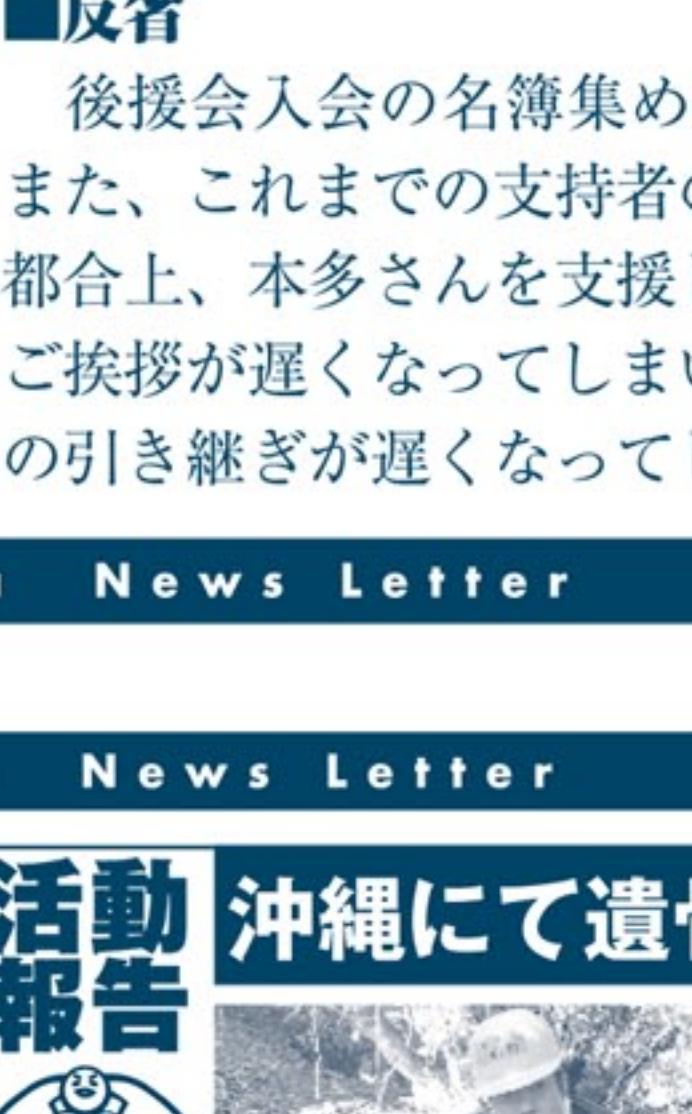
している北海道に転出が決まりました。

こうした一連の経過をふまえ、本多さんと引き継ぎを行いましたが、その際には田並胤明元代議士、田並尚明県議が間に入っていたとき、円滑な話し合いができたことは大変幸運なことでした。

##### 3. 戦略の実践

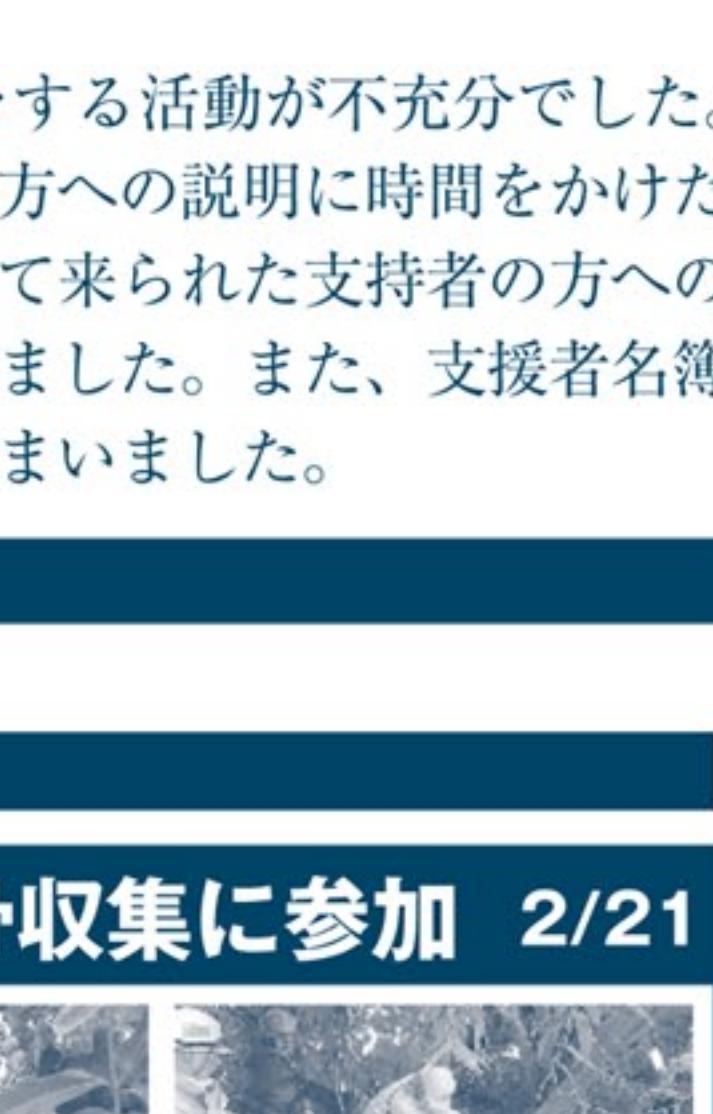
多くの方々のご支援により、個別訪問(4,120軒)、ミニ集会(155回、参加者3,427名)を中心とした戦略を実践することができました。

###### 座談会



熊谷市本石地区にて

###### 個別訪問



行田市埼玉地区にて



羽生市川俣地区にて

#### ■反省

後援会入会の名簿集めをする活動が不充分でした。また、これまでの支持者の方への説明に時間をかけた都合上、本多さんを支援して来られた支持者の方へのご挨拶が遅くなってしまいました。また、支援者名簿の引き継ぎが遅くなってしまいました。

#### Toshikazu Morita News Letter

#### Toshikazu Morita News Letter

### 平成28年の戦略

#### 1. 人格を高める

昨年同様、仲間と共に学び、人格を高めています。政治家になってから、皆様の期待に応えられるような人間に成長することは、支援の輪を広げる大きな力となるはずです。

「見えないところが、見えるところを支えている」。「感謝」、「謙虚」、「真摯(真剣で誠実)」を常に意識しながら、これからも活動を続けていきます。

#### 2. 後援会組織の拡充

熊谷市内においては、大字単位、その他の市においては、小学校区を目安にして後援会組織を構築し、空白地区をなくすよう努め、下記の活動を行う基盤とします。

#### 3. 本多さんの支援者の皆様との信頼関係を構築

これまで本多さんを支持していた方々が、森田を支持していただけるよう、迅速にかつ丁寧に信頼関係を構築していきます。本多さんの後継になったからといって、かつての支援者の皆様が必ず支援をしていただけるというわけではないので、個別に、依頼事項を明確にして支援をお願いしていきます。

#### 4. 後援会名簿8万名分の確保

当選に向けての道筋を確固たるものとするため、8万名分の後援会名簿を集めます。各地区後援会、各組織・団体をはじめ、ご支援をいただける皆様に、署名集めをお願いしていきます。

#### 5. 個別訪問、ミニ集会の実施

各地区後援会の方々に段取りをお願いしながら、個別訪問、ミニ集会を行います。

また、各地区の動きとは別に、趣味やスポーツ、職場などのグループにミニ集会の開催をお願いしていきます。

その際、特に女性の力を結集できるよう、女性の支援者を増やすことに力を入れます。

#### 6. ポスター掲示の推進

上記の活動を円滑に進めるには各市での知名度を上げることが急務です。3000枚を目標に、各市にポスターを掲示していきます。

各地区の交通量が多く、かつ広すぎない道路沿いを中心に掲示します。

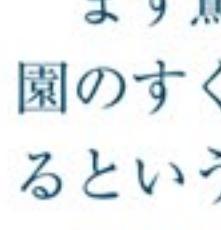
#### 7. 着実に活動する

相手の方の動きとしては、各種団体などを通じて、熊谷の地盤を切り崩すための行動を取ることが想定されます。

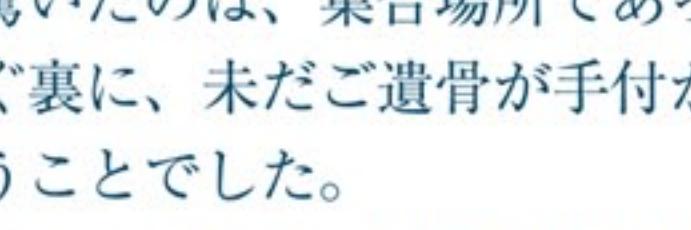
こうした行動を止めることはできません。こちらとしては、着実に戦略を実践することで、有権者一人ひとりの皆様に森田の支援をお願いしていくことを徹底します。

### 活動報告 沖縄にて遺骨収集に参加 2/21

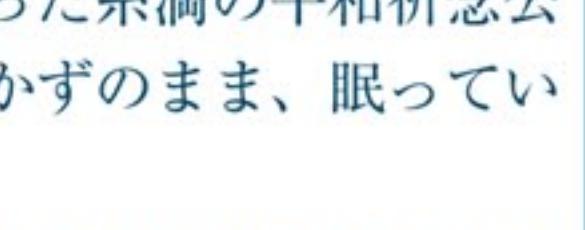
#### 活動報告



#### 沖縄にて遺骨収集に参加 2/21



ヘルメットを被って作業



岩をどかしての搜索

国政に関われば、いつか生死に関わるような決定をしなければならないかもしれません。

その時に、戦争のことを知らないと何かしら判断を間違うかもしれないし、そもそも判断ができないかもしれません。

浪人中の今だからこそ、多くの方が犠牲となった現場に身を置き、肌身で歴史、生命の重さを感じておきたい、という思いがあります。

今回参加させていただき、本当に良かったと思っています。

まず驚いたのは、集合場所であった糸満の平和祈念公園のすぐ裏に、未だご遺骨が手付かずのまま、眠っているということでした。

海岸沿いの急峻な土地で人がなかなか出入りできない所ですが、それにしても、これほど近くに、まだそのような現実があることに驚きました。

そして、その近さ故の残念な現実がありました。不法投棄と思われるゴミの山が、ご遺骨のすぐそばにあることです。もしかしたら、その下にご遺骨があるかもしれません。やるせない気持ちになりました。このゴミの山への対応は、私の課題の一つと受け止めました。

実際に収集活動をした場所は、森林の中です。枝や葉、土を少しづつ分けながら、ご遺骨を探しました。

今回、私は自分で見つけることはありませんでしたが、複数のご遺骨が収集されました。ご遺骨は、平和祈念公園を通じ、これまでのご遺骨同様、公園内の慰霊碑のそばに納骨されるそうです。

まだまだ戦争は昔話ではないことを実感しました。

國の方針により、およそ310万の方々が犠牲になったことを決して忘れません。そして、様々な難しさはあったにしろ、未だ放置

されてしまっているご遺骨があることをこれからも常に気に留め、今の日本に生きる者の使命として、その収集に尽くしていきたいと思います。

改めて、先の大戦でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。